金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する
We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets

2027年3月期第1四半期　決算説明資料

米国会計基準(US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2026年7月

© Nomura

目次

プレゼンテーションの概要

エグゼクティブ・サマリー P2
安定収益の推移 P3
ローリング4四半期平均 P4
2027年3月期決算の概要 P5
セグメント情報 P6
ウェルス・マネジメント部門 P7-9
インベストメント・マネジメント部門 P10-11
ホールセール部門 P12-14
バンキング部門 P15-16
金融費用以外の費用 P17
強固な財務基盤を維持 P18

Financial Supplement

バランス・シート関連データ P20
バリュー・アット・リスク P21
連結決算概要 P22
連結損益 P23
連結決算：主な収益の内訳 P24
連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失) P25
セグメント「その他」 P26
ウェルス・マネジメント部門関連データ P27-30
インベストメント・マネジメント部門関連データ P31-32
ホールセール部門関連データ P33
人員数 P34

エグゼクティブ・サマリー

2027年3月期第1四半期の決算ハイライト

すべての部門が前四半期比で増収増益、ROE[1]は 15.4%
～構造改革の成果が着実に業績に表れ、2030年経営ビジョンに向け順調に進捗

- ストック型ビジネスの拡大を背景に、安定的な収益基盤を強化
- 米州・アジアが牽引、海外3地域の税前利益は752億円と過去最高を更新[2]
  ～注力分野が着実に伸長し、海外ビジネスの利益の厚みが拡大
- 成長領域となるバンキングビジネス強化に向けた取り組みを着実に執行

- 全社収益：6,867億円(前四半期比19%増)、税前利益：2,115億円(同96%増)、当期純利益[3]：1,456億円(同97%増)、EPS[4]：48.34円
- **4セグメント税前利益：2,130億円(同70%増)**

ウェルス・マネジメント部門
- 資産管理ビジネスの定着によりストック収入、ストック資産、ストック資産純増はいずれも過去最高を更新
- ストック収入費用カバー率は76%まで向上、税前利益率は49%と高水準

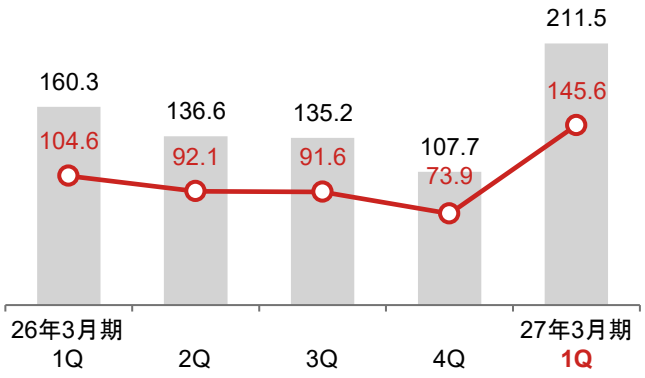
インベストメント・マネジメント部門
- 部門設立[5]以来、収益、税前利益は過去最高を更新
- 運用資産残高は過去最高となる156兆円に達し、買収事業も含め国内外で運用報酬が増加。アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益の拡大も増収に寄与

ホールセール部門
- 安定・成長・多様化に向けた取り組みが実を結び、部門設立[6]以来、収益、税前利益は過去最高を更新
- グローバル・マーケッツは注力するエクイティや海外富裕層ビジネスが大幅増収となり、業績を牽引
- インベストメント・バンキングは第1四半期としては初めての500億円超の収益を達成

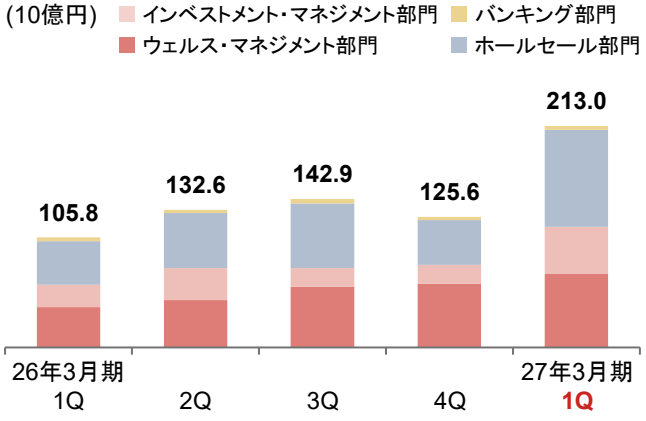
バンキング部門
- 貸出業務や信託・エージェント業務からの収入が堅調に推移
- 預金スイープサービスの開始に伴い、契約件数や預金残高が順調に拡大

税前利益、当期純利益[3]の推移

全社



4セグメント税前利益



1. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出
2. 2009年3月期の開示以降
3. 当社株主に帰属する当期純利益
4. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益
5. 2021年4月の部門設立
6. 2010年4月の部門設立

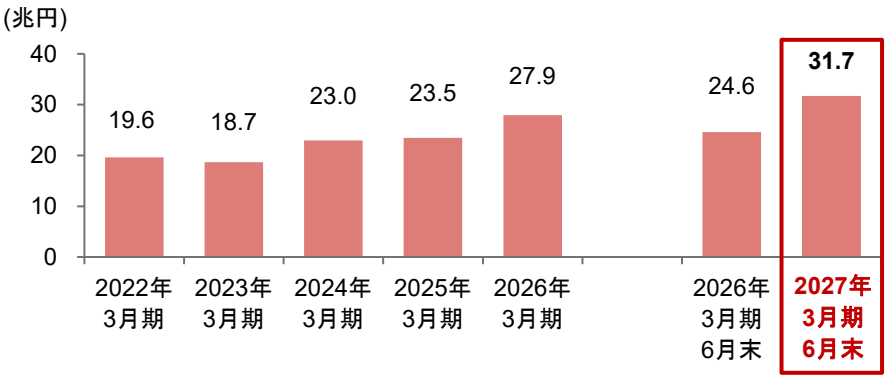
安定収益の推移：
ストック型ビジネスの拡大を背景に、安定収益は前年同期比で約1.6倍に

NOMURA | 100 YEARS

インフローを伴い、ストック資産および運用資産残高は増加

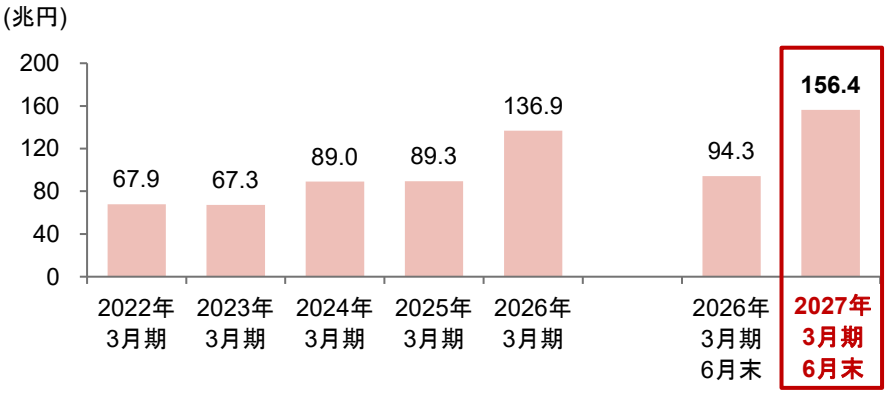
ウェルス・マネジメント部門(WM部門)

ストック資産

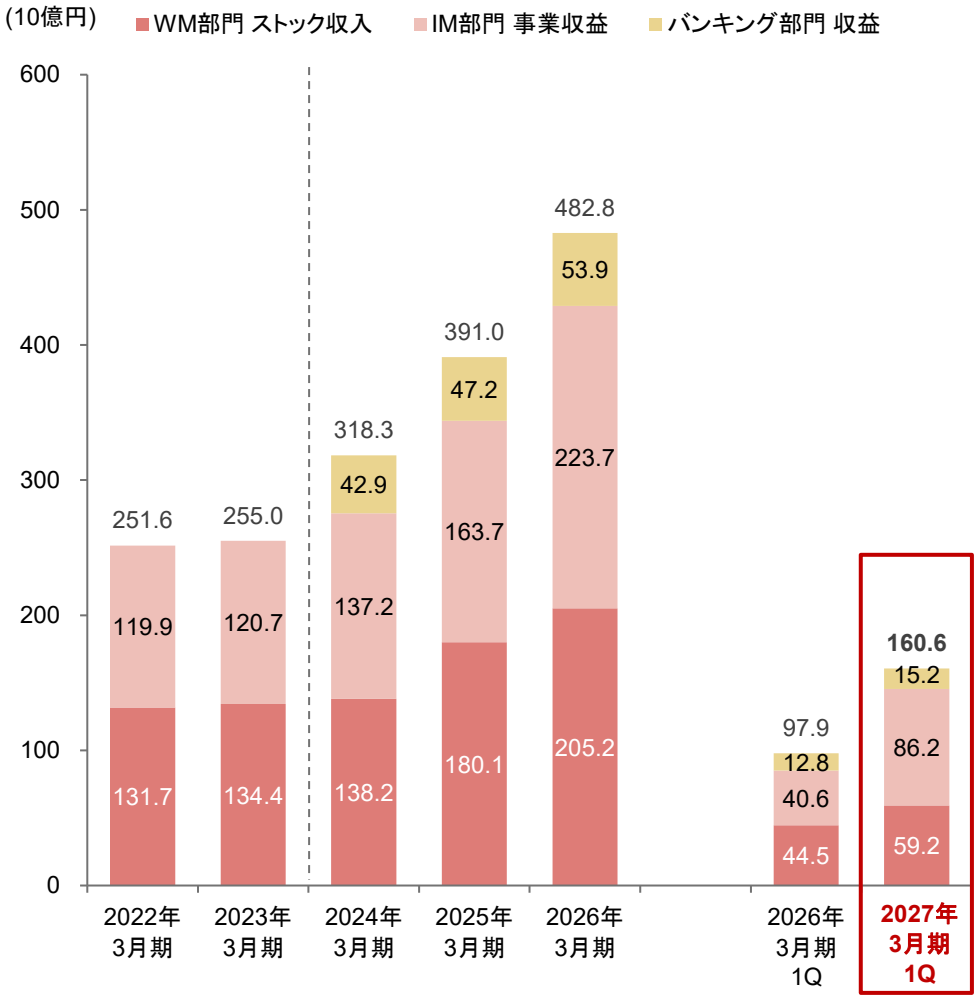


インベストメント・マネジメント部門(IM部門)

運用資産残高



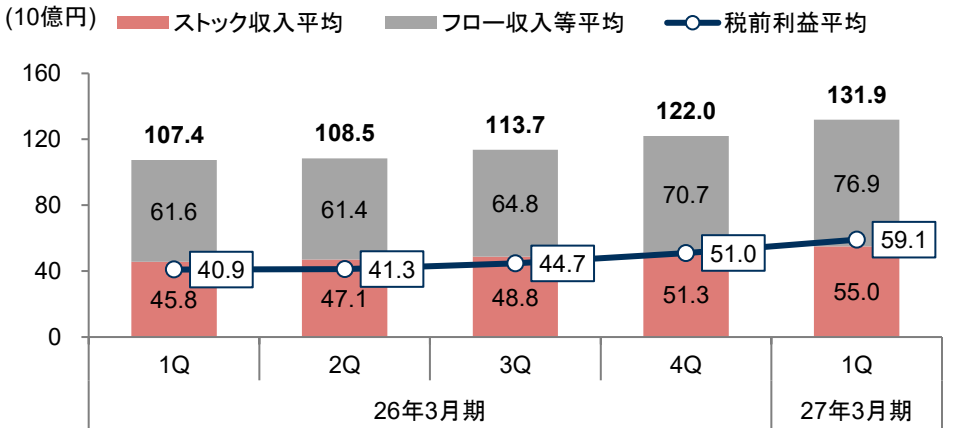
安定収益[1]は着実に拡大[2]



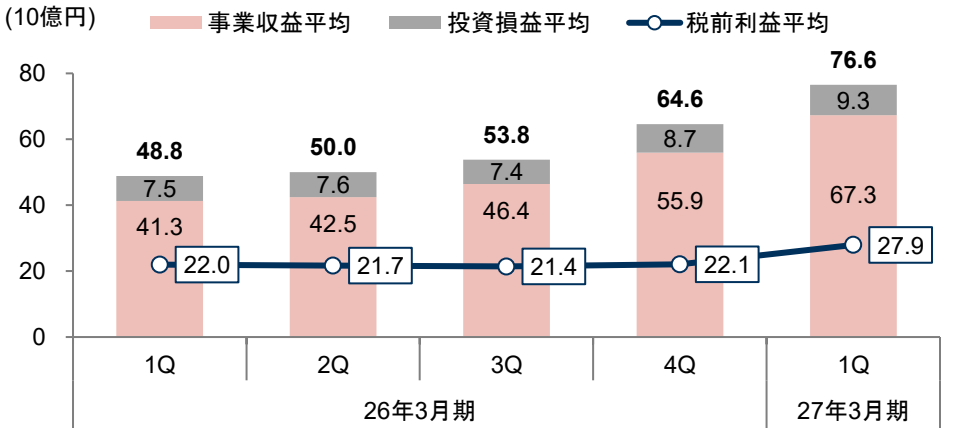
1. ウェルス・マネジメント部門のストック収入、インベストメント・マネジメント部門の事業収益、バンキング部門の収益の合計値
2. バンキング部門の収益の一部は従来、ウェルス・マネジメント部門のストック収入に含まれていたが、2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2026年3月期第1四半期以降、区分して開示。2024年3月期および2025年3月期の数値については遡及修正を行ったが、それ以前の会計年度については遡及修正は行っていない

ローリング4四半期平均[1] 部門別の収益・税前利益

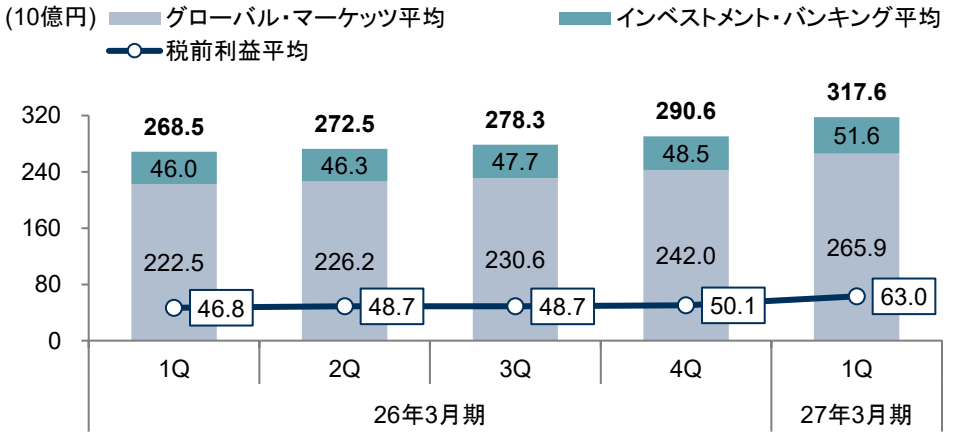
ウェルス・マネジメント部門[2]



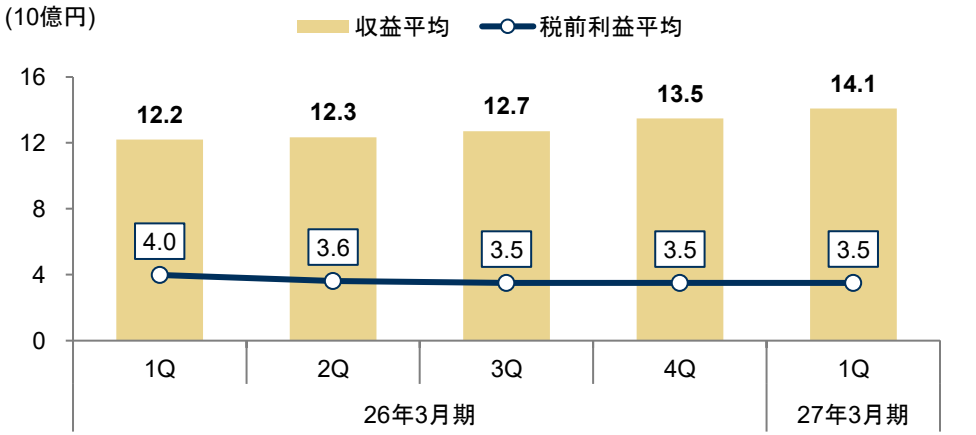
インベストメント・マネジメント部門



ホールセール部門



バンキング部門[2]



1. 当該四半期を含む直近4四半期の収益および税前利益を単純平均して算出
2. 2025年4月のバンキング部門設立に伴い、ウェルス・マネジメント部門に含まれていたバンキングビジネス分の数値(2025年3月期以前)を遡及修正した後の収益および税前利益を用いて算出

2027年3月期決算の概要

決算ハイライト

(10億円、EPS、BPS、ROEを除く)	26年3月期				27年3月期	前四半期比	前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計(金融費用控除後)	523.3	515.5	551.8	577.2	**686.7**	**19%**	**31%**
金融費用以外の費用	363.0	378.8	416.5	469.5	**475.2**	**1%**	**31%**
税前利益	160.3	136.6	135.2	107.7	**211.5**	**96%**	**32%**
当期純利益[1]	104.6	92.1	91.6	73.9	**145.6**	**97%**	**39%**
実効税率	*32.9%*	*29.9%*	*30.1%*	*28.9%*	***26.2%***		
EPS[2]	34.04円	30.49円	30.19円	24.34円	**48.34円**	**99%**	**42%**
BPS[3]	1,177.31円	1,188.05円	1,244.72円	1,277.99円	**1,311.94円**	**3%**	**11%**
ROE[4]	12.0%	10.6%	10.3%	8.0%	**15.4%**		
参考							
海外拠点税前利益[5、6]	*27.5*	*44.9*	*16.3*	*2.9*	**75.2**	**25.8x**	**174%**

1. *当社株主に帰属する当期純利益*
2. *希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益*
3. *一株当たり株主資本*
4. *各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出*
5. *米州、欧州、アジア・オセアニア（インドのポワイ・オフィスを含む）*
6. *米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではない*

セグメント情報

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

		26年3月期 1Q	26年3月期 2Q	26年3月期 3Q	26年3月期 4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
収益	ウェルス・マネジメント部門	105.8	116.5	132.5	133.1	**145.4**	**9%**	**37%**
	インベストメント・マネジメント部門	50.6	60.8	60.9	86.2	**98.3**	**14%**	**94%**
	ホールセール部門	261.1	279.2	313.9	308.1	**369.1**	**20%**	**41%**
	バンキング部門	12.8	12.9	13.7	14.5	**15.2**	**5%**	**19%**
	4セグメント合計	**430.3**	**469.3**	**521.0**	**542.0**	**628.1**	**16%**	**46%**
	その他(※)	93.2	44.4	28.1	31.2	**53.1**	**70%**	**-43%**
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-0.1	1.8	2.7	4.0	**5.5**	**39%**	**-**
	収益合計(金融費用控除後)	**523.3**	**515.5**	**551.8**	**577.2**	**686.7**	**19%**	**31%**
税前利益(損失)	ウェルス・マネジメント部門	38.8	45.5	58.5	61.2	**71.1**	**16%**	**83%**
	インベストメント・マネジメント部門	21.5	30.7	17.9	18.1	**45.0**	**148%**	**109%**
	ホールセール部門	41.9	53.1	62.3	43.2	**93.3**	**116%**	**123%**
	バンキング部門	3.6	3.2	4.2	3.0	**3.6**	**19%**	**1%**
	4セグメント合計	**105.8**	**132.6**	**142.9**	**125.6**	**213.0**	**70%**	**101%**
	その他(※)	54.6	2.3	-10.3	-22.0	**-7.0**	**-**	**-**
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-0.1	1.8	2.7	4.0	**5.5**	**39%**	**-**
	税前利益(損失)　合計	**160.3**	**136.6**	**135.2**	**107.7**	**211.5**	**96%**	**32%**

※ 2027年3月期第1四半期の「その他」に関する補足
- 経済的ヘッジ取引に関連する損失(-20億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(14億円)

ウェルス・マネジメント部門

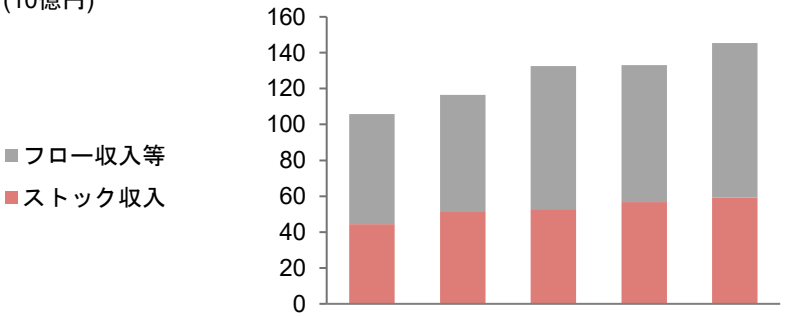
収益合計(金融費用控除後)、税前利益[1]

(10億円)

	26年3月期 1Q	26年3月期 2Q	26年3月期 3Q	26年3月期 4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	105.8	116.5	132.5	133.1	**145.4**	**9%**	**37%**
金融費用以外の費用	67.0	71.0	74.0	71.9	**74.3**	**3%**	**11%**
税前利益	38.8	45.5	58.5	61.2	**71.1**	**16%**	**83%**

収益の内訳[1]

(10億円)



	26年3月期 1Q	26年3月期 2Q	26年3月期 3Q	26年3月期 4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
ストック収入[1]	44.5	51.2	52.7	56.8	**59.2**	**4%**	**33%**
フロー収入等[2]	61.3	65.3	79.8	76.4	**86.2**	**13%**	**41%**
収益合計(金融費用控除後)	105.8	116.5	132.5	133.1	**145.4**	**9%**	**37%**

決算のポイント

収益:　1,454億円(前四半期比9%増、前年同期比37%増)
税前利益:　711億円(前四半期比16%増、前年同期比83%増)

- 資産管理型ビジネスを通じた収益構造の転換が進展し、増収増益トレンドを維持
  - ストック資産の拡大と顧客アクティビティの増加が、ストック収入とフロー収入の双方を押し上げ、業績を牽引
  - 継続的なコスト・コントロールにより収益増に対する費用増加を抑制
  - ストック収入費用カバー率[3]は76%に達し、2030年度目標の達成に向けて順調に推移

ストック収入

- ストック資産の純増額は過去最高(+5,396億円)　～投信・投資一任ともに高水準の純増を実現
- ストック収入も過去最高を更新　～堅調なマーケット環境とストック資産純増が半期ごとに収受する投資助言報酬の剥落を吸収

フロー収入等

- フロー収入等は前四半期比13%増　～投資信託を中心に顧客アクティビティが堅調に推移

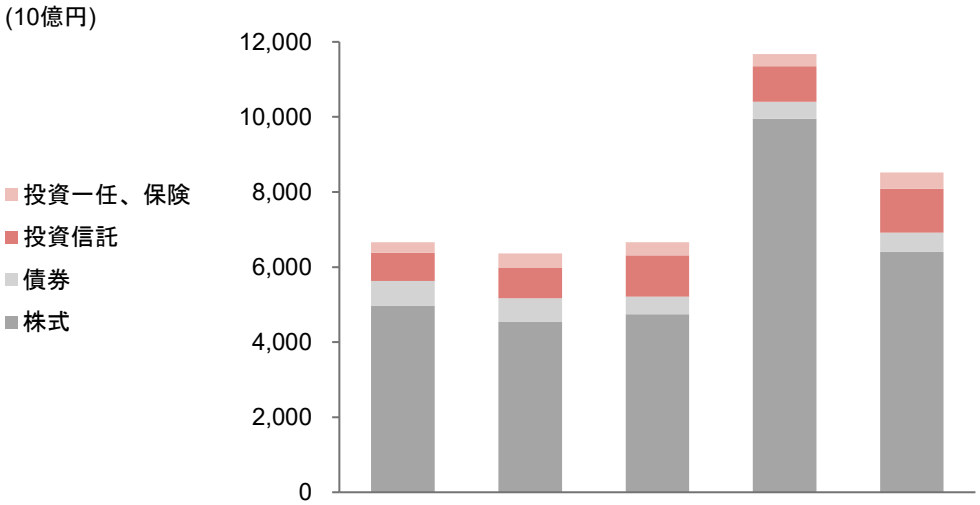
資産拡大項目	26年3月期 4Q	27年3月期 1Q
投信純増[4]	+3,357億円	**+3,755億円**
投資一任純増[4]	+988億円	**+1,891億円**
現金本券差引[5]	+2兆7,200億円	**-8兆5,582億円**

1. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)　2. 取引に付随して発生する収入(ブローカレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等
3. 直近4四半期累計のストック収入を金融費用以外の費用で除したもの　4. 法人課を除く　5. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

ウェルス・マネジメント部門：
長期分散投資を前提とした資産の買付がさらに伸長

NOMURA | 100 YEARS

総募集買付額[1]



	26年 3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年 3月期 1Q
株式	4,967.5	4,539.9	4,741.3	9,953.3	**6,404.0**
債券	660.6	633.4	473.4	447.6	**512.0**
投資信託	754.7	815.2	1,095.1	953.7	**1,167.3**
投資一任	140.2	187.0	221.0	223.6	**308.6**
保険	137.3	185.5	132.7	96.7	**131.7**
総募集買付額[1]	6,660.3	6,361.0	6,663.4	11,675.0	**8,523.7**

総募集買付額[1]は8兆5,237億円　前四半期比27%減
投資信託、投資一任契約を中心に高水準で推移

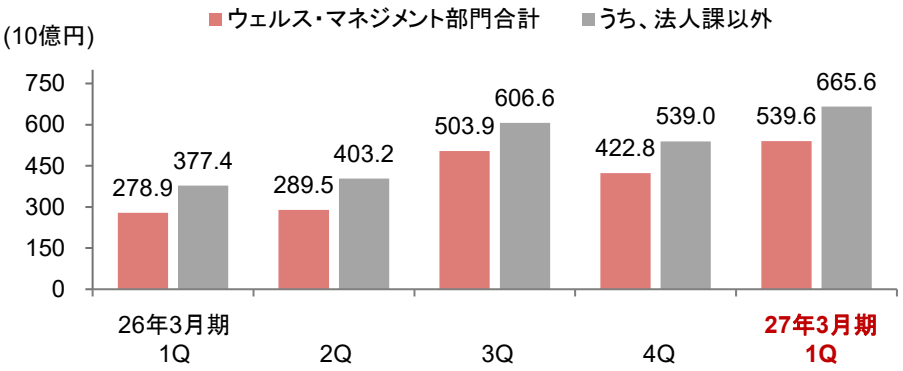
- 株式：前四半期比36%減
  - 大型TOB案件の剥落により前四半期比で減少も、好調なマーケット環境を受けて顧客アクティビティは活発化。買付は高水準
  - プライマリー株式募集額：2,234億円、前四半期比10%増
- 債券販売額：前四半期比14%増
  - 円金利の上昇等を背景に国内債の需要は堅調
  - 米国金利や為替の先行き不透明感を受け、外債販売額は横ばい
- 投資信託：前四半期比22%増
  - 長期分散投資ニーズは引き続き底堅く、新規募集商品や成長株関連ファンドを中心に高水準の買付が継続
- 投資一任契約：前四半期比38%増
  - 顧客ニーズに即したサービス提供の強化により、SMAの契約額が大きく伸長
- 保険販売額：前四半期比36%増
  - 年金・相続対策ニーズに対応した保険商品の販売額が大きく伸長

1. 法人課およびワークプレイス・ソリューション部を除く

ウェルス・マネジメント部門：KPIサマリー

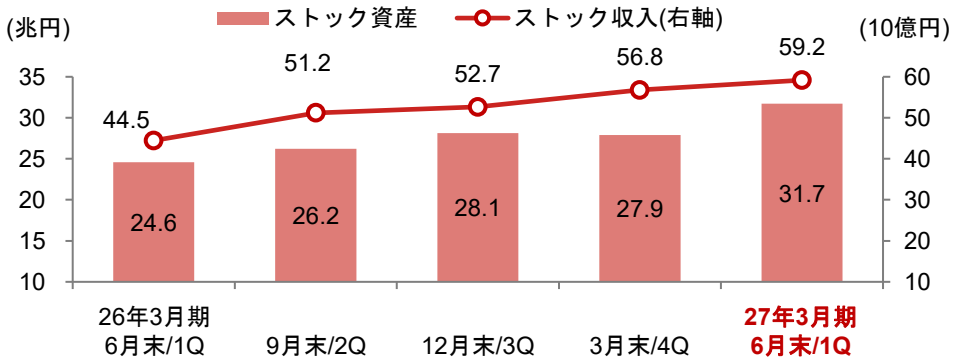
ストック資産純増[1]

- 17四半期連続の純増。部門合計、法人課以外ともに過去最高



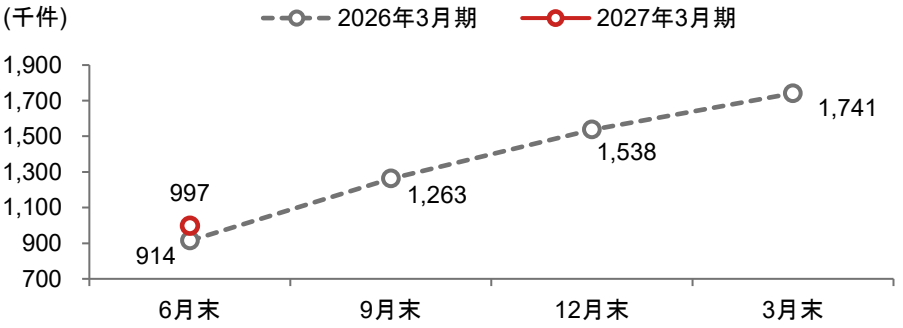
ストック資産およびストック収入[2]

- 高水準のストック資産純増と好調なマーケット環境を受け、ストック資産・ストック収入はともに過去最高を更新



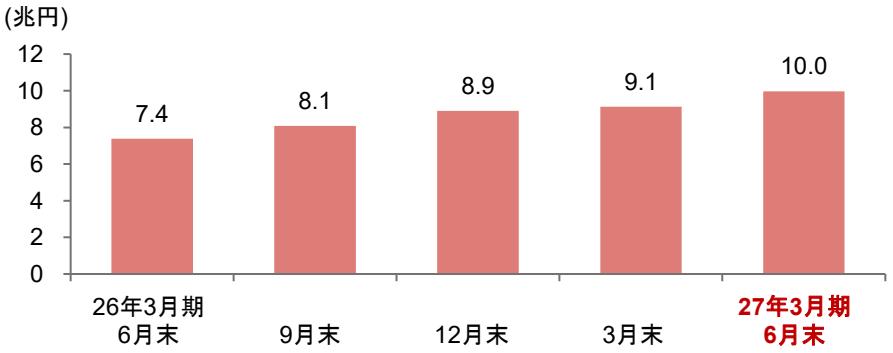
フロービジネス顧客数

- 顧客ニーズを的確にとらえ、フロービジネス顧客数は前年同期を上回る水準で推移



ワークプレイス預り資産

- 持株会からの高水準な資金流入が継続し、堅調に推移



1. 投信分配金による純減を含まず、レベルフィー等口座内の投信純増を控除した数値
2. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)

インベストメント・マネジメント部門

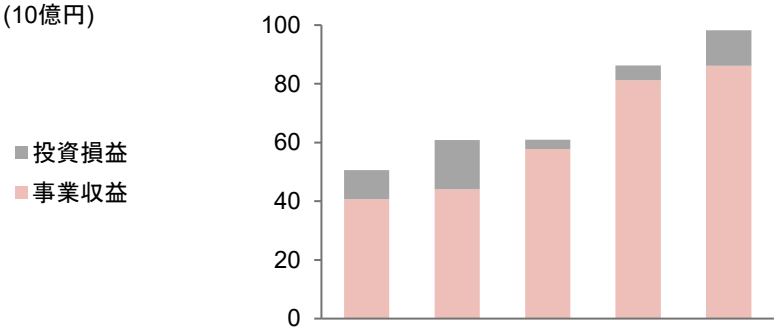
収益合計(金融費用控除後)、税前利益[1]

(10億円)

	26年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	50.6	60.8	60.9	86.2	**98.3**	**14%**	**94%**
金融費用以外の費用	29.0	30.1	43.0	68.1	**53.3**	**-22%**	**84%**
税前利益	21.5	30.7	17.9	18.1	**45.0**	**148%**	**109%**

収益の内訳

(10億円)



	26年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
事業収益[1、2]	40.6	44.1	57.8	81.2	**86.2**	**6%**	**112%**
投資損益[3]	9.9	16.8	3.1	5.0	**12.1**	**141%**	**22%**
収益合計(金融費用控除後)	50.6	60.8	60.9	86.2	**98.3**	**14%**	**94%**

決算のポイント

収益: 983億円(前四半期比14%増、前年同期比94%増)
税前利益: 450億円(前四半期比148%増、前年同期比109%増)

- 収益・税前利益はともに、2021年4月の部門設立以降で最高
  - 事業収益は過去最高を更新。運用資産残高が156兆円となり、国内・海外ともに収益拡大に貢献
  - 投資損益は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(以下、ACI)関連損益が大きく貢献
- 前四半期に計上した一時費用が剥落し、費用は前四半期比で減少

事業収益

- 収益:862億円(前四半期比6%増、前年同期比112%増)
  - アセットマネジメント・ビジネスは引き続き堅調
    - 運用資産残高の拡大に伴い、運用報酬は継続して過去最高を更新
    - 海外ビジネスの収益も拡大。野村AM-I[4]が運営する新規設定の新興国株アクティブに資金が流入し、買収事業に関連した国内外の協業が着実に進捗
  - 航空機リースを手掛ける野村バブコックアンドブラウンは好調だった前四半期から平準化

投資損益

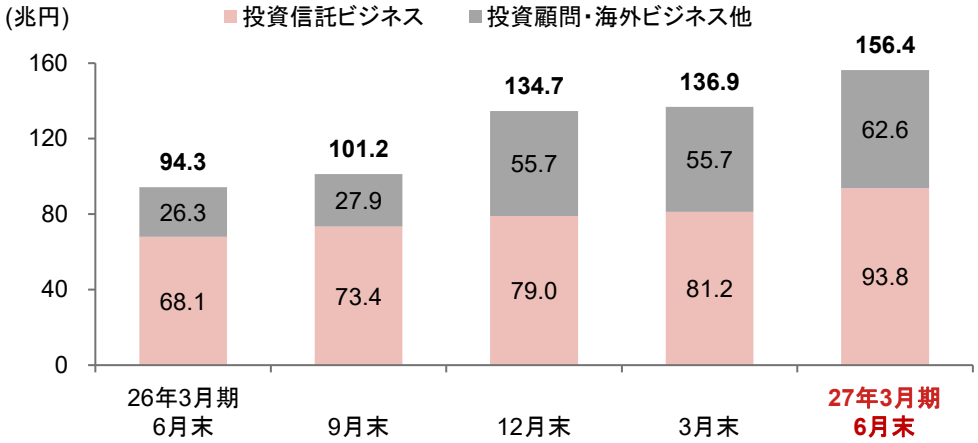
- 収益:121億円(前四半期比141%増、前年同期比22%増)
  - ACI関連損益が前四半期比で大幅に増加
  - 複数のファンド投資先企業の評価益も計上

1. 2026年3月期第1四半期より野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティングの損益を含む。2025年12月1日よりマッコーリー・グループからのパブリック・アセットマネジメント事業による損益を含む
2. アセットマネジメント事業、航空機リース関連事業の収益およびプライベート・アセット等の投資事業から得られるGP管理報酬を含む収益で構成
3. アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益、プライベート・アセット等の投資事業および投資に起因する収益(公正価値の変動、資金調達コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成
4. ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル

インベストメント・マネジメント部門：
運用資産残高はオルタナティブ資産を含め過去最高を継続

NOMURA | 100 YEARS

運用資産残高(ネット)[1]



運用資産残高は過去最高となる156.4兆円

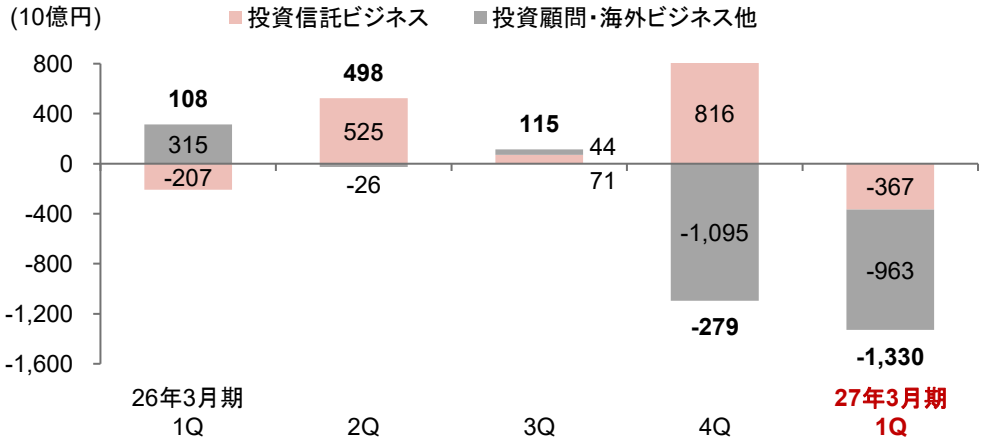
国内投資信託ビジネス

- 投信(ETF、MRF等除く)は約5,000億円の流入も、ETFは約9,400億円の流出
  - 投信：新規設定の新興国株アクティブや、日本株アクティブ、バランス型に資金が流入
  - ETF：株価上昇局面において、日本株を中心に資金が流出

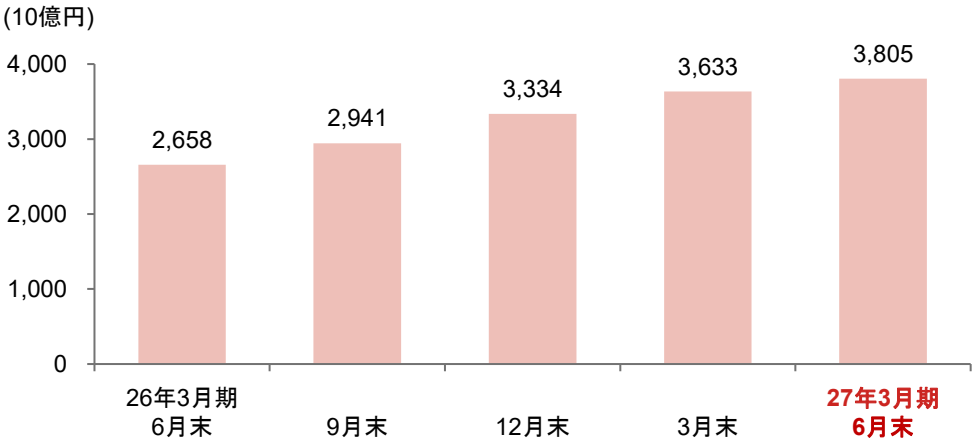
国内投資顧問及び海外ビジネス他

- 国内は、日本株アクティブ、プライベート・アセットを中心に資金が流入
- 海外は、米国市場のトレンドに沿ってミューチュアルファンドからの流出が継続。米国ハイ・イールド債からも資金が流出

資金純流入[2]



オルタナティブ運用資産残高[3]は資金純流入を伴い過去最高を更新



1. 運用資産残高(ネット)は、インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産の単純合計(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したもの
2. 運用資産残高(ネット)に基づく
3. 野村アセットマネジメントのオルタナティブ運用資産残高およびその他インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社のプライベート・アセット等の運用資産残高の合計

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	26年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	261.1	279.2	313.9	308.1	**369.1**	**20%**	**41%**
金融費用以外の費用	219.2	226.0	251.6	264.8	**275.8**	**4%**	**26%**
税前利益	41.9	53.1	62.3	43.2	**93.3**	**116%**	**123%**
経費率	*84%*	*81%*	*80%*	*86%*	***75%***		
収益/調整リスク・アセット[1]	*6.9%*	*7.1%*	*7.8%*	*7.6%*	***9.3%***		

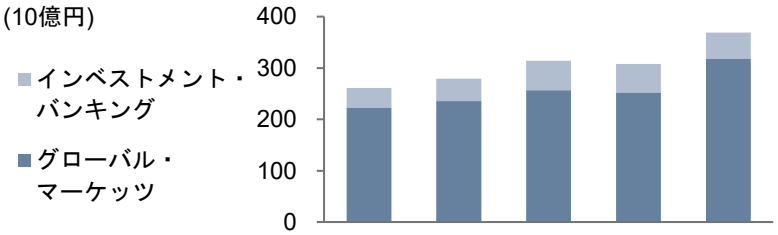
決算のポイント

収益: 3,691億円(前四半期比20%増、前年同期比41%増)
税前利益: 933億円(前四半期比116%増、前年同期比123%増)

- 安定・成長・多様化に向けた取り組みが実を結び、収益、税前利益ともに、2010年4月の部門設立以降で最高を更新
  - グローバル・マーケッツはエクイティが牽引し、過去最高収益[2]
  - インベストメント・バンキング収益は、好調だった前四半期から減収も、第1四半期としては、過去最高を更新[2]
  - 収益拡大に伴うオペレーティング・レバレッジの発揮により、経費率が改善
  - セルフファンディングの枠組みの下、市場環境に応じたリソース配分を機動的に行い、収益/調整リスク・アセット比率は向上

ビジネスライン別の収益

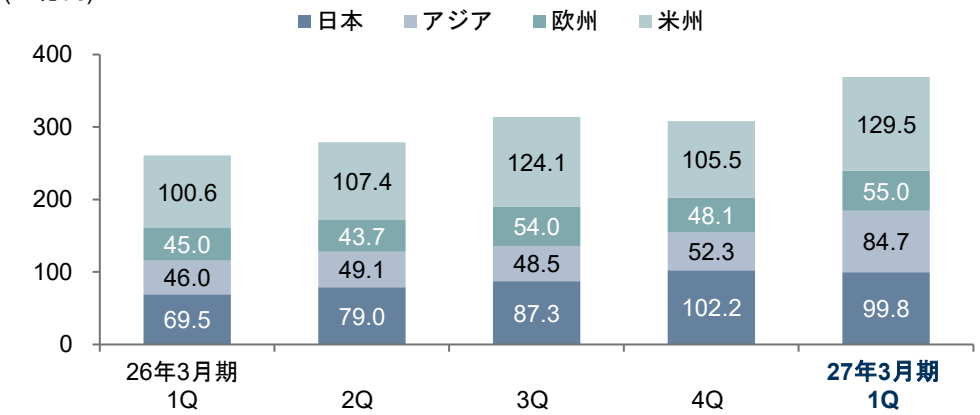
(10億円)



	26年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
グローバル・マーケッツ	223.1	235.7	256.8	252.5	**318.7**	**26%**	**43%**
インベストメント・バンキング	37.9	43.5	57.1	55.6	**50.4**	**-9%**	**33%**
収益合計(金融費用控除後)	261.1	279.2	313.9	308.1	**369.1**	**20%**	**41%**

地域別収益

(10億円)

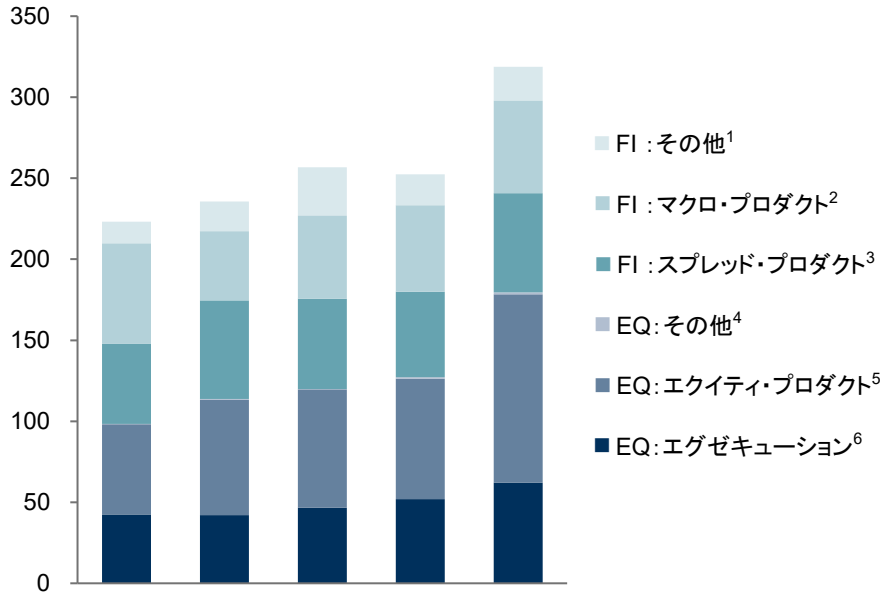


1. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、年換算)を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除したもの。調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼルⅢ規制のリスク・アセットと、(2)バーゼルⅢ規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最低資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計。なお、2026年3月期1Qより、バーゼルⅢ最終化後ベース
2. 比較可能な2017年3月期以降

ホールセール部門:グローバル・マーケッツ

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



	26年 3月期				27年 3月期	前四半期比	前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
フィクスト・インカム(FI)	124.8	121.9	136.9	125.3	**139.2**	**11%**	**12%**
エクイティ(EQ)	98.3	113.8	119.9	127.2	**179.4**	**41%**	**83%**
グローバル・マーケッツ	223.1	235.7	256.8	252.5	**318.7**	**26%**	**43%**

決算のポイント

収益: 3,187億円(前四半期比26%増、前年同期比43%増)

- フィクスト・インカムは、クレジットや為替/エマージングが伸長。海外富裕層ビジネスは顧客基盤の拡大と共に収益が順調に進捗、収益の多様化に貢献
- エクイティは4四半期連続で過去最高収益を更新[7] ～グローバル化戦略のもとで、確立したビジネスの地域横断的な展開が奏功、エクイティ・プロダクトとエグゼキューションともに過去最高収益[7]

フィクスト・インカム

- 収益:1,392億円(前四半期比11%増、前年同期比12%増)
  - **マクロ・プロダクト**:金利プロダクトは顧客アクティビティを捉え、欧州が増収。為替/エマージングは顧客フローの増加に伴いアジアが大幅増収
  - **スプレッド・プロダクト**:クレジットはスプレッドのタイトニングを背景に顧客アクティビティが増加した日本とアジアが大幅増収。証券化商品は前四半期並みの水準を維持

エクイティ

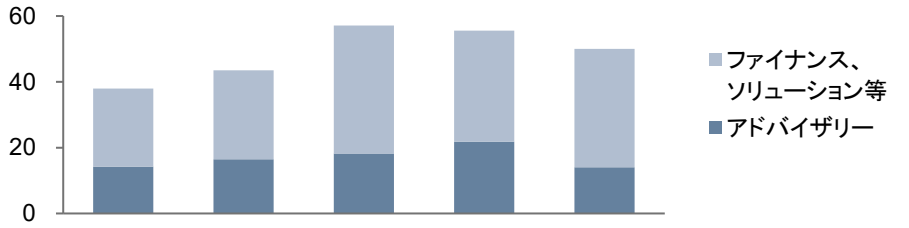
- 収益:1,794億円(前四半期比41%増、前年同期比83%増)
  - **エクイティ・プロダクト**:各地域でのフランチャイズ拡大と顧客フローの増加を背景に、デリバティブを中心に伸長
  - **エグゼキューション**:顧客アクティビティを的確に捉えたアジアが牽引

1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益　2. 金利プロダクト、為替/エマージング
3. クレジット、証券化商品　4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益　5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス
6. 株式執行ビジネス　7. 比較可能な2017年3月期以降

ホールセール部門：インベストメント・バンキング

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



26年3月期				27年3月期	前四半期比	前年同期比
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
37.9	43.5	57.1	55.6	**50.4**	**-9%**	**33%**

決算のポイント

収益：504億円(前四半期比9%減、前年同期比33%増)

- 季節要因によりコーポレートアクションが少ない第1四半期ながら、比較可能な2017年3月期以降、第1四半期として初の500億円超えの過去最高収益を達成

アドバイザリー

- 好調だった前四半期から減収も、国内では成長投資や事業ポートフォリオの見直しを目的とした案件、海外では戦略的に注力してきたコンテンツ強化が奏功し、再生可能エネルギー関連を含む複数の案件に関与

ファイナンス、ソリューション等[1]

- ECMは国内において複数の大型案件に関与し、日本ECMリーグテーブルでは引き続き首位を維持[2]。一方、社債型種類株式の発行など、多様なニーズにも対応。海外では米国で複数のECM案件に関与
- DCMは国内外の多様な発行体による起債に幅広く関与
- ソリューション関連ビジネスも国内外で堅調

代表的な案件 ～グローバル・フランチャイズを活かして国内外で案件に関与

アドバイザリー

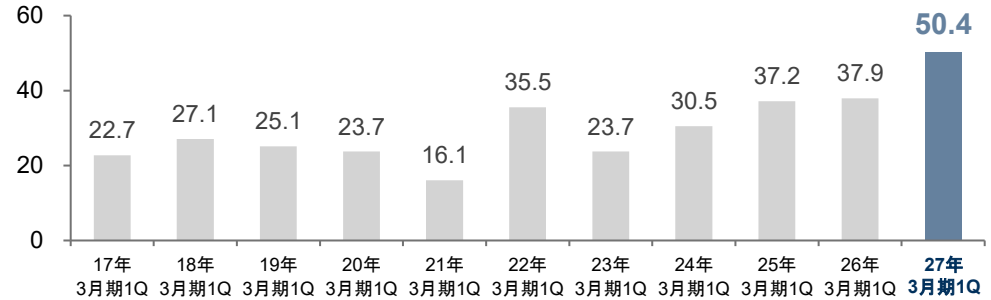
- **EDF power solutions**（仏）による北米の再生可能エネルギー事業のKKRへの売却（$4.6bn）
- **Blackstone**によるEurowind Energy（デンマーク）への出資（€2.0bn）
- **ジェイ・エス・ビー**の非公開化（2,007億円）
- **オリックス**によるオリックス銀行の売却（3,700億円）
- **メディパルホールディングス**によるPALTACの完全子会社化（1,920億円）
- **日立グループ**（日立製作所および日立グローバルライフソリューションズ）による、家電事業のノジマへの譲渡（1,100億円）
- **TotalEnergies**（仏）とMasdar（UAE）による合弁設立（金額非開示）
- **アクセンチュア**によるAlfahealth（伊）の買収（金額非開示）
- **CIMB Thai Bank**（タイ）による一部ローンポートフォリオの売却（金額非開示）

ファイナンス、ソリューション等

- **Firmus Technologies**（豪）：Blackstone主導のデット・ファシリティ（$10bn）、およびCoatue Management主導のエクイティ（$505m）調達
- **本田技研工業**：ユーロ建て社債（€2.5bn）
- **Madison Air**（米）：IPO（$2.5bn）
- **Forgent Power Solutions**（米）：FO（$2.3b）
- **JX金属**：ユーロ円CB（2,500億円）
- **日本航空**：社債型種類株式（2,000億円）
- **GO**：グローバルIPO（972億円）

第1四半期としては比較可能な2017年3月期以降で最高

(10億円)



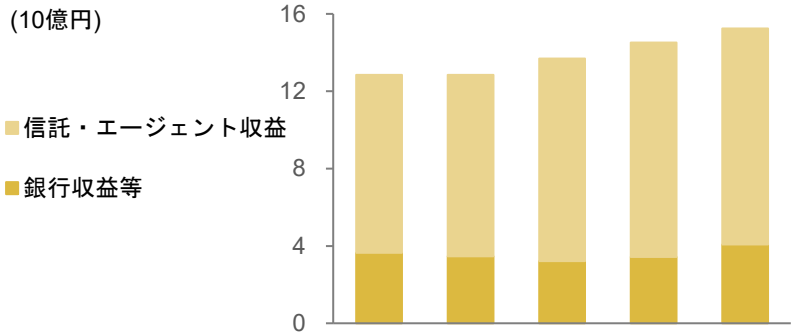
1. ECM、DCM、買収/レバレッジド・ファイナンス(ALF)、グローバル・マーケッツとの共管ビジネス、その他各プロダクトに帰属しない損益　*2. 出所：LSEG(2026年7月13日時点)*

バンキング部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	26年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	12.8	12.9	13.7	14.5	**15.2**	**5%**	**19%**
金融費用以外の費用	9.2	9.7	9.5	11.5	**11.6**	**1%**	**26%**
税前利益	3.6	3.2	4.2	3.0	**3.6**	**19%**	**1%**

収益の内訳[1]



	26年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
銀行収益等[1]	3.6	3.5	3.2	3.4	**4.1**	**19%**	**12%**
信託・エージェント収益[2]	9.2	9.4	10.5	11.1	**11.2**	**1%**	**22%**
収益合計(金融費用控除後)	12.8	12.9	13.7	14.5	**15.2**	**5%**	**19%**

決算のポイント

収益: 152億円 (前四半期比5%増、前年同期比19%増)
税前利益: 36億円 (前四半期比19%増、前年同期比1%増)

- 増収増益を達成。4月27日に預金スイープサービスを予定通りローンチ
  - ローン残高の着実な増加等を背景に銀行収益が拡大
  - 預金スイープに関連するシステム費や促進のための広告宣伝費を計上

銀行収益等

- 収益:41億円(前四半期比19%増、前年同期比12%増)
  - 預金スイープサービスは、キャンペーン効果やウェルス・マネジメント部門との連携を背景に、契約件数、残高ともに順調に拡大
  - ローン残高の拡大を背景に、貸出業務からの収益が伸長
  - 保有有価証券の評価も増収に寄与

信託・エージェント収益

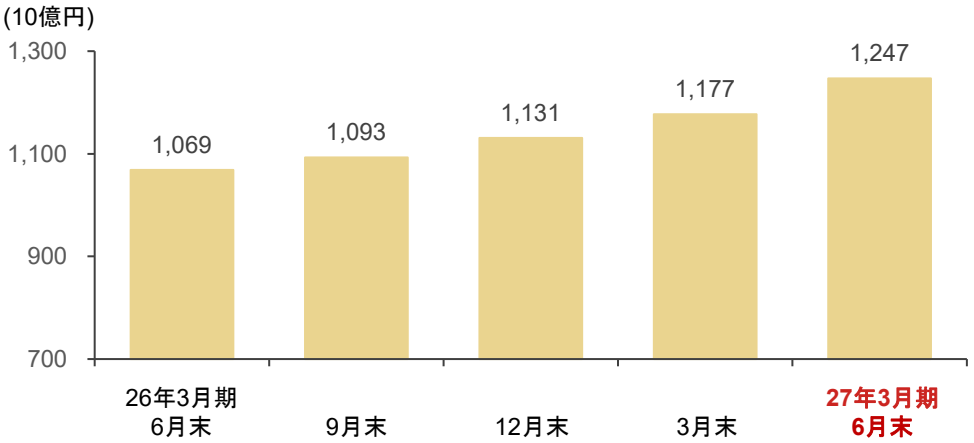
- 収益:112億円(前四半期比1%増、前年同期比22%増)
  - 野村信託銀行は、営業戦略の強化による投信の新規設定の取り込みやマーケット要因により受託残高が拡大し、信託報酬が着実に増加
  - Nomura Bank Luxembourgは、プライベートアセットに対する日本の投資家による底堅い需要を受け、公募・私募のファンドへの資金流入が継続

	26年3月期 3月末	27年3月期 6月末	増減
預金残高[3]	1兆3,345億円	**1兆6,642億円**	**+3,297億円**

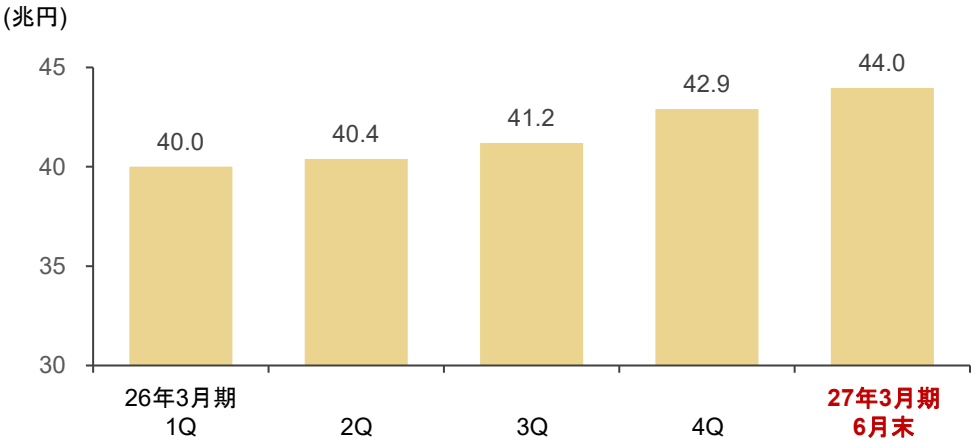
1. *銀行収益等は、主に野村信託銀行株式会社(NTB)が獲得する純金利マージン、およびNTBにおける外国為替取引に係る手数料やスプレッドなどのサービス収益で構成*
2. *信託・エージェント収益は、主に野村バンク(ルクセンブルグ)S.A.(NBL)からの収益、およびNTBにおける投資信託等の顧客資産の管理から生じる収益で構成*
3. *野村信託銀行(NTB)。譲渡性預金を除く*

バンキング部門：KPIサマリー

ローン残高(野村信託銀行)



投信受託残高[1](野村信託銀行)



KPIハイライト

ローン残高

- インターネットバンキングの利用拡大や広告戦略による証券担保ローンの認知向上に加え、相場上昇に伴う担保価値の高まりを背景に、野村Webローンを中心に残高が伸長

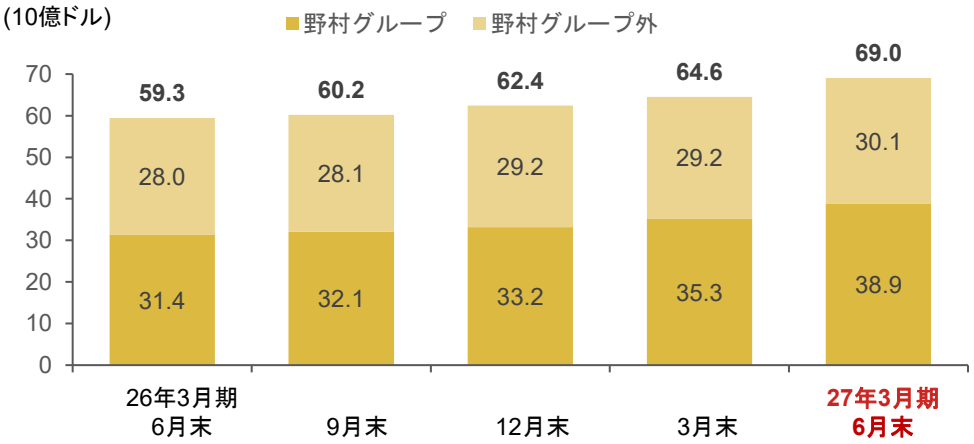
投信受託残高

- 営業戦略の強化による委託会社の開拓や新規設定の取り込みに加え、マーケットの追い風もあり残高が拡大

管理資産残高

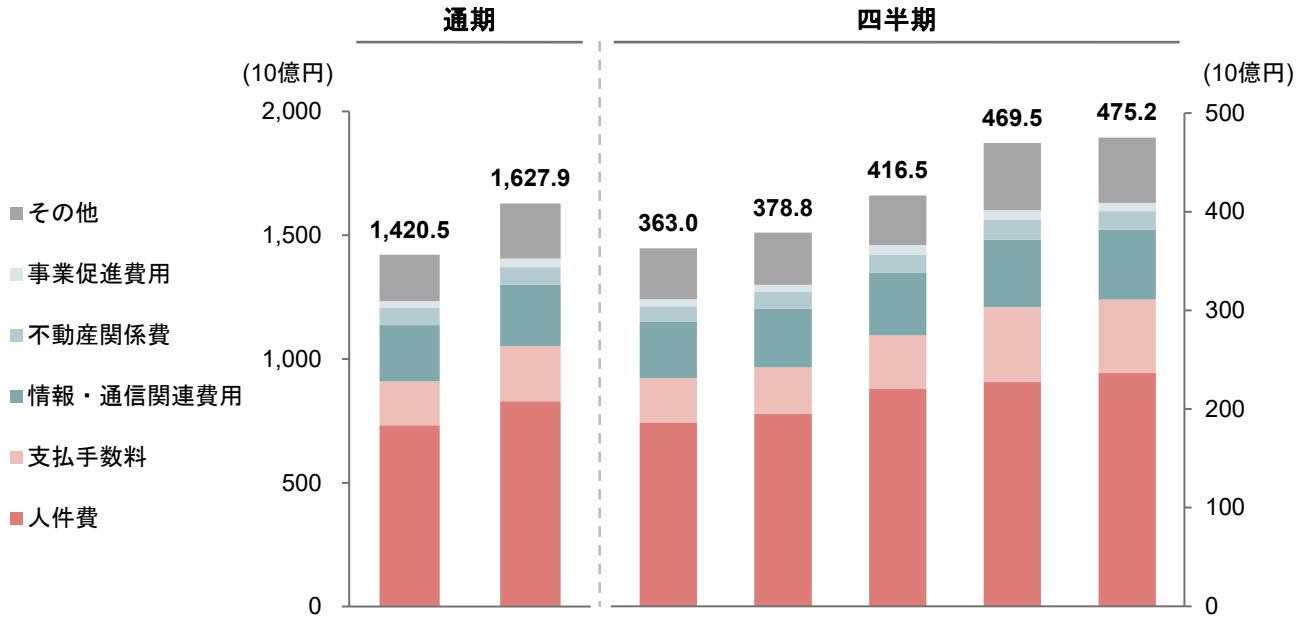
- 高品質な商品・サービスを提供することで、プライベートアセットに投資する公募・私募のファンドへの資金流入を継続的に取り込み、残高は拡大

管理資産残高(Nomura Bank Luxembourg)



1. 投資信託受託残高(野村信託銀行)は、各信託の直近決算時の資産額を合計したもの

金融費用以外の費用



	25年3月期	26年3月期	26年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	前四半期比
人件費	732.4	829.5	186.3	195.1	220.7	227.4	**236.8**	**4.1%**
支払手数料	177.5	221.9	44.8	47.2	54.0	75.9	**74.3**	**-2.1%**
情報・通信関連費用	227.0	248.4	57.2	59.2	63.5	68.6	**70.7**	**3.1%**
不動産関係費	70.2	71.5	16.0	17.3	17.9	20.4	**18.7**	**-8.2%**
事業促進費用	27.1	33.7	7.0	7.3	10.0	9.4	**8.5**	**-9.8%**
その他	186.4	222.9	51.8	52.8	50.4	67.8	**66.1**	**-2.5%**
合計	1,420.5	1,627.9	363.0	378.8	416.5	469.5	**475.2**	**1.2%**

決算のポイント

第1四半期

金融費用以外の費用: 4,752億円
(前四半期比1%増)

- 人件費 (前四半期比4%増)
  - 業績に応じた賞与および繰延報酬の増加
- 支払手数料 (前四半期比2%減)
  - 前四半期に実施した会計上の表示方法見直しに伴う一時的な増加が剥落
- 情報・通信関連費用 (前四半期比3%増)
  - IT基盤の更改対応や新本社関連の機器費用等の増加

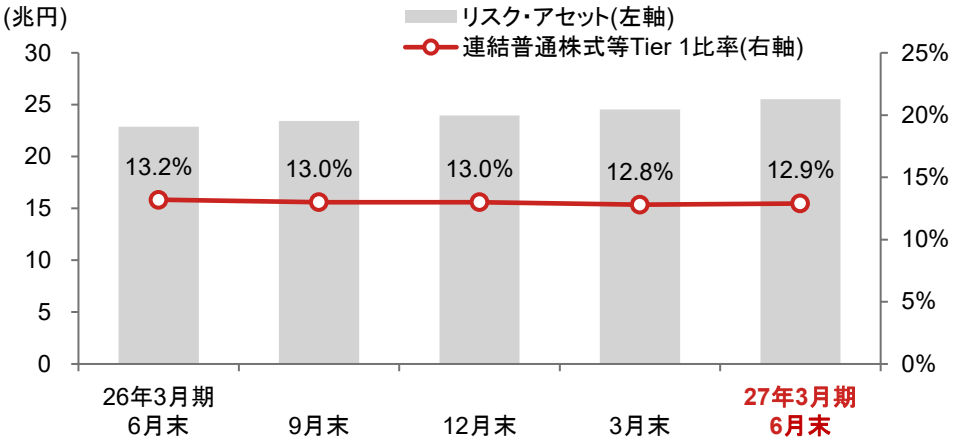
強固な財務基盤を維持

バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

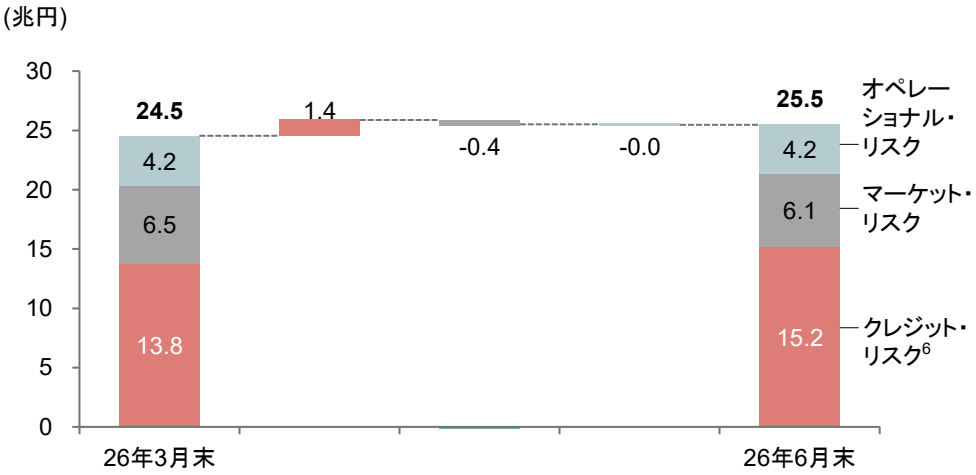
	2026年 3月末	2026年 6月末
資産合計	62.6兆円	**68.2兆円**
当社株主資本	3.7兆円	**3.8兆円**
グロス・レバレッジ	16.9倍	**17.8倍**
調整後レバレッジ[1]	12.2倍	**12.9倍**
レベル3資産(デリバティブ負債相殺後)	1.3兆円	**1.3兆円**
流動性ポートフォリオ	10.7兆円	**12.7兆円**

(10億円) バーゼル3ベース	2026年 3月末	2026年 6月末[2]
Tier 1資本	3,843	**3,767**
Tier 2資本	189.3	**239.2**
総自己資本の額	4,032	**4,006**
リスク・アセット	24,544	**25,522**
連結普通株式等Tier 1比率[3]	12.8%	**12.9%**
連結Tier 1 比率	15.6%	**14.7%**
連結総自己資本規制比率	16.4%	**15.6%**
連結レバレッジ比率[4]	5.18%	**4.64%**
適格流動資産(HQLA)[5]	7.9兆円	**8.9兆円**
連結流動性カバレッジ比率(LCR)[5]	214.0%	**196.9%**
TLAC比率(リスクアセット・ベース)	26.7%	**29.4%**
TLAC比率(総エクスポージャーベース)	9.9%	**10.2%**

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率[3]



リスク・アセットの変動[2]



1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率　2. 2026年6月末は暫定数値
3. 連結普通株式等Tier 1比率:Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの　4. Tier1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目 + オフバランス項目)で除したもの
5. 四半期の日次平均の値　6. クレジット・リスクにはCVAを含む

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)

	2026年 3月末	2026年 6月末	前期比 増減
資産			
現金・預金	5,649	**6,160**	511
貸付金および受取債権	9,543	**10,213**	670
担保付契約	17,550	**18,852**	1,303
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資[1]	26,342	**29,069**	2,727
その他の資産[1]	3,562	**3,930**	368
資産合計	62,646	**68,224**	5,578

	2026年 3月末	2026年 6月末	前期比 増減
負債			
短期借入	1,753	**1,933**	181
支払債務および受入預金	8,698	**9,310**	612
担保付調達	18,066	**19,080**	1,014
トレーディング負債	12,916	**15,431**	2,516
その他の負債	1,814	**1,724**	-90
長期借入	15,545	**16,752**	1,207
負債合計	58,791	**64,230**	5,439
資本			
当社株主資本合計	3,708	**3,834**	126
非支配持分	147	**159**	12
負債および資本合計	62,646	**68,224**	5,578

1. *担保差入有価証券を含む*

バリュー・アット・リスク

- VaRの前提
  - 信頼区間　：　95%
  - 保有期間　：　1日
  - 商品の価格変動等を考慮

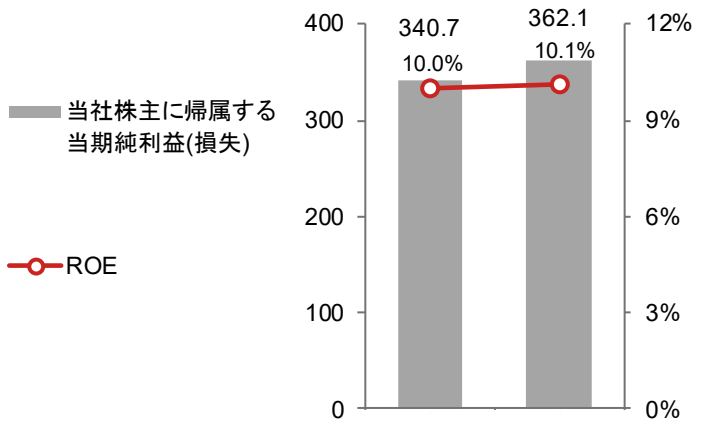
- VaRの実績(10億円)
  - 期間　：　2026.4.1～2026.6.30
  - 最大　：　6.7
  - 最小　：　5.5
  - 平均　：　6.0

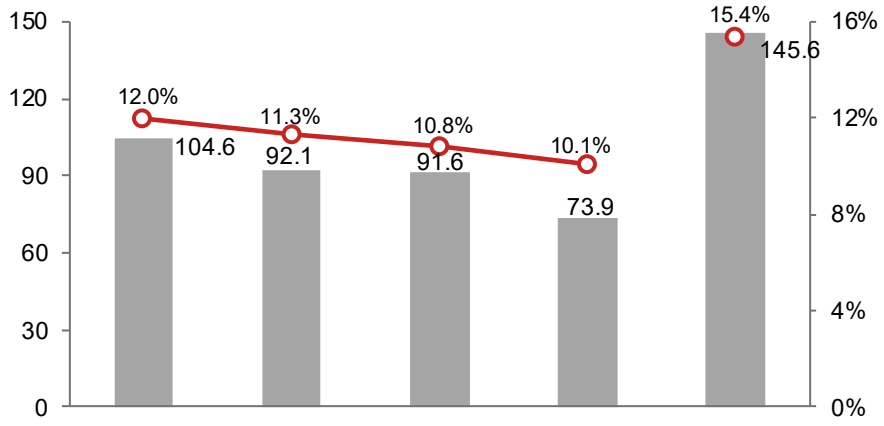
(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期				2027年3月期
	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
株式関連	2.0	4.5	3.2	3.6	4.8	4.5	**4.7**
金利関連	2.1	2.9	2.2	2.2	2.6	2.9	**3.2**
為替関連	1.5	1.1	1.6	1.5	1.3	1.1	**1.5**
小計	5.6	8.5	7.0	7.3	8.7	8.5	**9.4**
分散効果	-1.8	-2.7	-2.5	-2.4	-2.5	-2.7	**-3.1**
連結VaR	3.8	5.8	4.5	4.9	6.2	5.8	**6.3**

連結決算概要

(10億円)





	2025年3月期	2026年3月期
収益合計(金融費用控除後)	1,892.5	2,167.7
税引前当期純利益(損失)	472.0	539.8
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	340.7	362.1
当社株主資本合計	3,470.9	3,707.9
ROE(%)[1]	10.0%	10.1%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	115.30	123.08
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	111.03	118.99
1株当たり株主資本(円)	1,174.10	1,277.99

2026年3月期				2027年3月期
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
523.3	515.5	551.8	577.2	**686.7**
160.3	136.6	135.2	107.7	**211.5**
104.6	92.1	91.6	73.9	**145.6**
3,476.0	3,485.3	3,651.8	3,707.9	**3,834.3**
12.0%	11.3%	10.8%	10.1%	**15.4%**
35.19	31.34	31.21	25.29	**49.90**
34.04	30.49	30.19	24.34	**48.34**
1,177.31	1,188.05	1,244.72	1,277.99	**1,311.94**

1. *四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出*

連結損益

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期				2027年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益							
委託・投信募集手数料	407.0	455.3	100.6	105.0	119.2	130.4	**128.2**
投資銀行業務手数料	212.2	200.5	38.4	44.6	59.0	58.6	**56.2**
アセットマネジメント業務手数料	378.2	468.6	92.9	102.5	122.7	150.6	**162.1**
トレーディング損益	580.1	696.9	142.2	171.9	190.7	192.0	**230.3**
プライベートエクイティ・デット投資関連損益	7.6	12.6	6.3	4.4	1.6	0.3	**0.6**
金融収益	2,927.9	2,669.6	649.6	652.8	712.5	654.8	**698.5**
投資持分証券関連損益	0.4	13.1	-0.4	4.4	4.5	4.6	**6.8**
その他	223.3	241.8	127.0	75.6	17.8	21.5	**89.0**
収益合計	4,736.7	4,758.5	1,156.6	1,161.2	1,227.9	1,212.8	**1,371.7**
金融費用	2,844.3	2,590.8	633.3	645.8	676.2	635.6	**685.0**
収益合計(金融費用控除後)	1,892.5	2,167.7	523.3	515.5	551.8	577.2	**686.7**
金融費用以外の費用	1,420.5	1,627.9	363.0	378.8	416.5	469.5	**475.2**
税引前当期純利益(損失)	472.0	539.8	160.3	136.6	135.2	107.7	**211.5**
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	340.7	362.1	104.6	92.1	91.6	73.9	**145.6**

連結決算：主な収益の内訳

(10億円)

		2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q	2026年3月期 4Q	2027年3月期 1Q
委託・投信募集手数料	委託手数料-株式	264.5	295.2	62.8	67.2	79.9	85.3	**84.7**
	委託手数料-株式以外	17.5	20.3	4.7	4.5	3.3	7.8	**6.7**
	投信募集手数料	66.1	66.3	14.3	14.3	20.9	16.9	**22.1**
	その他手数料	58.9	73.5	18.7	19.1	15.1	20.5	**14.7**
	合計	407.0	455.3	100.6	105.0	119.2	130.4	**128.2**
投資銀行業務手数料	株式	52.9	41.0	3.6	5.0	15.1	17.3	**14.7**
	債券	48.4	47.0	13.8	11.4	10.8	10.9	**14.0**
	M&A・財務コンサルティングフィー	78.7	83.0	15.6	19.7	24.2	23.5	**20.2**
	その他	32.2	29.5	5.4	8.4	8.9	6.9	**7.3**
	合計	212.2	200.5	38.4	44.6	59.0	58.6	**56.2**
アセットマネジメント業務手数料	アセットマネジメントフィー	235.9	311.7	58.3	64.5	81.6	107.3	**115.8**
	アセット残高報酬	109.1	120.6	26.3	29.0	31.8	33.5	**36.3**
	カストディアルフィー	33.2	36.3	8.2	9.0	9.3	9.8	**10.0**
	合計	378.2	468.6	92.9	102.5	122.7	150.6	**162.1**

連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整：税前利益(損失)

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期				2027年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ウェルス・マネジメント部門[1]	166.2	204.0	38.8	45.5	58.5	61.2	**71.1**
インベストメント・マネジメント部門	89.6	88.3	21.5	30.7	17.9	18.1	**45.0**
ホールセール部門	166.3	200.6	41.9	53.1	62.3	43.2	**93.3**
バンキング部門[1]	16.4	14.0	3.6	3.2	4.2	3.0	**3.6**
4セグメント合計税前利益[1]	438.4	506.9	105.8	132.6	142.9	125.6	**213.0**
その他[1]	35.1	24.6	54.6	2.3	-10.3	-22.0	**-7.0**
セグメント合計税前利益	473.5	531.6	160.4	134.9	132.6	103.7	**206.0**
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-1.5	8.3	-0.1	1.8	2.7	4.0	**5.5**
税前利益(損失)	472.0	539.8	160.3	136.6	135.2	107.7	**211.5**

地域別情報・税前利益(損失)[2]

(10億円)

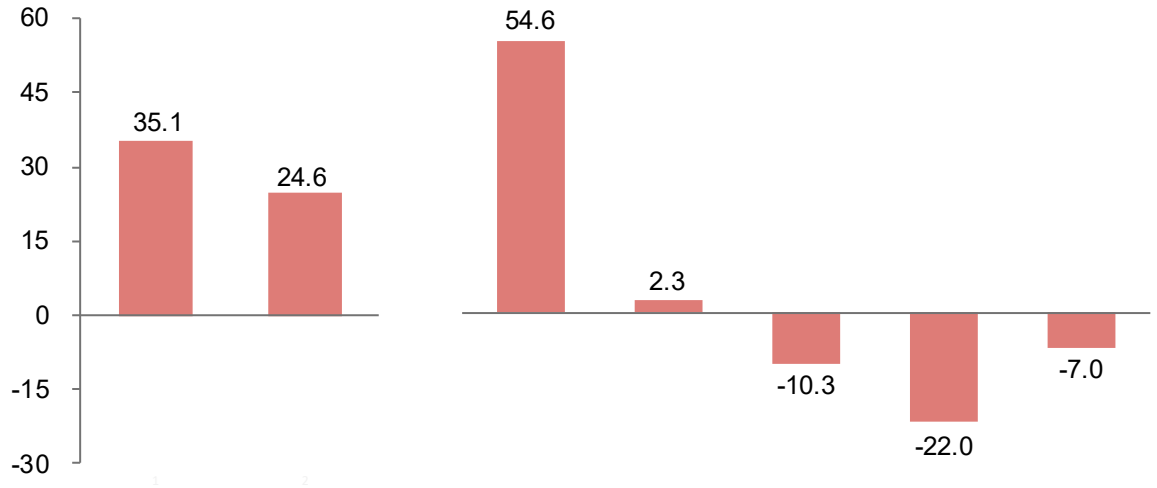
	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期				2027年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
米　州	65.8	61.9	15.6	29.1	17.1	0.1	**39.8**
欧　州	20.3	-31.1	-7.0	0.4	-10.6	-13.8	**-11.7**
アジア・オセアニア	50.9	60.8	18.9	15.4	9.8	16.6	**47.2**
海外合計	137.0	91.5	27.5	44.9	16.3	2.9	**75.2**
日本	335.0	448.3	132.8	91.8	118.9	104.8	**136.3**
税前利益(損失)	472.0	539.8	160.3	136.6	135.2	107.7	**211.5**

1. *2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正*
2. *米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではない*

セグメント「その他」

税前利益(損失)

(10億円)



	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q	2026年3月期 4Q	2027年3月期 1Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-5.8	-2.9	1.1	-0.2	-1.0	-2.9	**-2.0**
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	1.5	3.3	0.0	2.2	1.1	0.0	**1.2**
関連会社損益の持分額	51.2	36.5	12.3	12.4	17.6	-6.0	**10.5**
本社勘定	-5.9	-42.0	-11.6	-15.2	-9.6	-5.5	**-16.0**
その他[1]	-5.9	29.8	52.9	3.0	-18.5	-7.6	**-0.7**
税前利益(損失)[1]	35.1	24.6	54.6	2.3	-10.3	-22.0	**-7.0**

1. *2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(1)

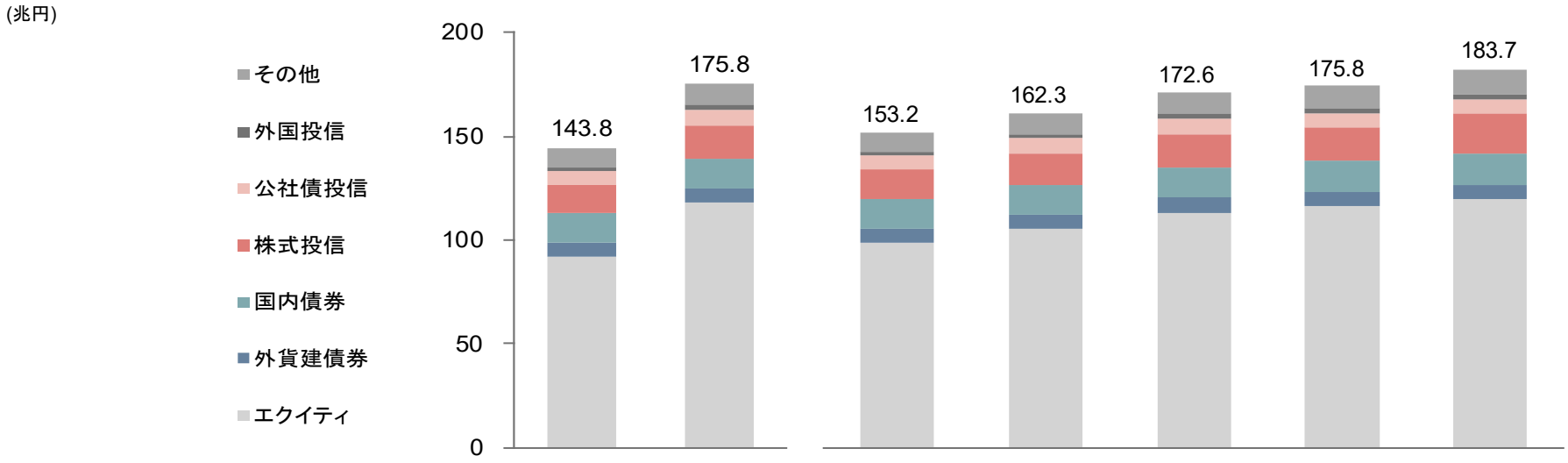
(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q	2026年3月期 4Q	2027年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
委託・投信募集手数料	183.6	217.5	46.2	52.1	58.7	60.6	**66.9**	**10.4%**	**44.9%**
うち株式委託手数料	72.2	96.0	18.3	22.7	24.7	30.3	**30.9**	**2.2%**	**68.9%**
うち投資信託募集手数料	65.9	66.1	14.2	14.3	20.8	16.8	**22.0**	**30.7%**	**54.5%**
販売報酬	52.5	49.3	11.6	12.6	13.1	12.0	**13.8**	**15.3%**	**18.6%**
投資銀行業務手数料等	27.3	25.6	5.2	3.9	8.8	7.6	**6.4**	**-15.4%**	**22.7%**
投資信託残高報酬等	156.7	176.1	38.7	42.9	46.4	48.1	**52.5**	**9.2%**	**35.6%**
純金融収益等[1]	13.4	19.4	4.0	5.0	5.4	4.9	**5.8**	**17.6%**	**44.0%**
収益合計(金融費用控除後)[1]	433.6	487.9	105.8	116.5	132.5	133.1	**145.4**	**9.2%**	**37.5%**
金融費用以外の費用[1]	267.4	283.9	67.0	71.0	74.0	71.9	**74.3**	**3.4%**	**10.9%**
税前利益[1]	166.2	204.0	38.8	45.5	58.5	61.2	**71.1**	**16.1%**	**83.4%**
国内投信販売金額	3,882.8	4,097.9	827.1	854.6	1,178.9	1,237.4	**1,506.8**	**21.8%**	**82.2%**
株式投信	3,107.2	3,252.4	724.1	708.5	984.0	835.8	**1,090.4**	**30.5%**	**50.6%**
外国投信	775.6	844.7	102.9	146.0	194.3	401.4	**416.4**	**3.7%**	**4.0x**
その他									
個人向け国債販売額(約定ベース)	317.9	278.9	82.0	33.5	80.8	82.6	**102.7**	**24.3%**	**25.3%**

1. *2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(2)

ウェルス・マネジメント部門顧客資産残高



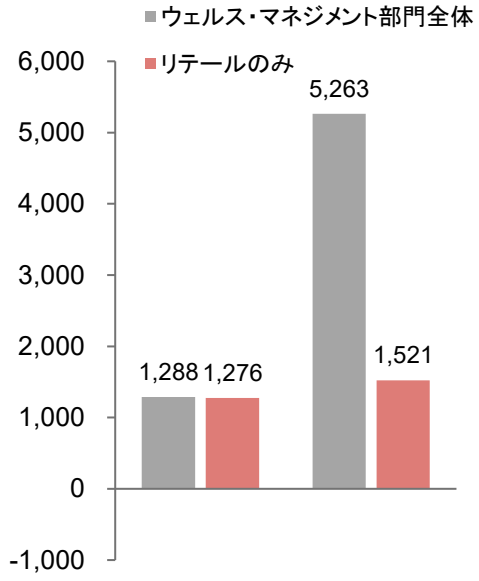
	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	2027年3月期 6月末
エクイティ	92.2	117.6	99.7	106.2	114.3	117.6	**121.0**
外貨建債券	6.5	6.9	6.5	6.8	7.0	6.9	**6.8**
国内債券[1]	14.2	14.7	14.7	14.8	14.8	14.7	**15.1**
株式投信	13.3	16.1	14.2	15.2	16.5	16.1	**19.1**
公社債投信	6.7	7.0	6.8	7.2	7.2	7.0	**6.7**
外国投信	2.0	2.7	2.0	2.1	2.3	2.7	**3.0**
その他[2]	8.8	10.8	9.3	10.0	10.5	10.8	**11.9**
合計	143.8	175.8	153.2	162.3	172.6	175.8	**183.7**

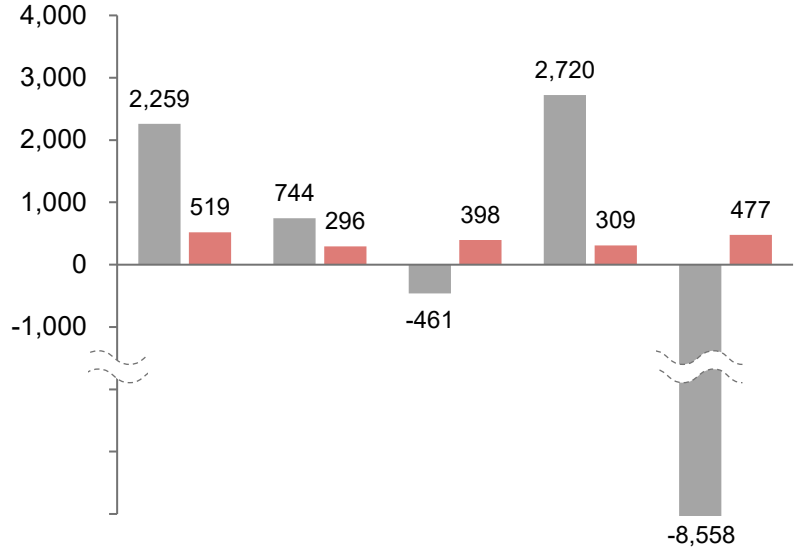
1. *CB・ワラントを含む*
2. *年金保険契約資産残高を含む*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(3)

現金本券差引[1]

(10億円)





	2025年3月期	2026年3月期
ウェルス・マネジメント部門全体	1,288	5,263
リテールのみ[2]	1,276	1,521
入金預り[3]	6,256	7,639

2026年3月期				2027年3月期
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
2,259	744	-461	2,720	**-8,558**
519	296	398	309	**477**
1,809	1,753	2,062	2,015	**2,167**

1. *地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引*
2. *リテールは、ウェルス・マネジメント部門全体の金額から、法人課、プライベート・ウェルス・マネジメントグループ及びワークプレイス・サービスを除いて算定。*
3. *リテールのみ対象*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(4)

口座数

(千口座)

	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	2027年3月期 6月末
残あり顧客口座数	5,934	6,095	5,965	5,998	6,075	6,095	**6,136**
株式保有口座数	3,285	3,310	3,292	3,292	3,301	3,310	**3,336**
NISA開設口座数	1,779	1,900	1,800	1,816	1,877	1,900	**1,919**
オンラインサービス口座数	5,974	6,377	6,053	6,140	6,278	6,377	**6,452**

個人新規開設口座数・IT比率[1]

(千口座)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q	2026年3月期 4Q	2027年3月期 1Q
個人新規開設口座数	372	440	103	103	113	121	**96**
IT比率[1]							
売買件数ベース	85%	85%	86%	85%	83%	85%	**83%**
売買金額ベース	60%	59%	59%	60%	58%	59%	**56%**

1. *現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合*

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

収益合計（金融費用控除後）、税前利益/損失

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q	2026年3月期 4Q	2027年3月期 1Q	前四半期比	前年同期比
事業収益	163.7	223.7	40.6	44.1	57.8	81.2	**86.2**	**6.2%**	**112.0%**
投資損益	28.8	34.8	9.9	16.8	3.1	5.0	**12.1**	**140.8%**	**22.1%**
収益合計(金融費用控除後)	192.5	258.5	50.6	60.8	60.9	86.2	**98.3**	**14.0%**	**94.4%**
金融費用以外の費用	102.9	170.2	29.0	30.1	43.0	68.1	**53.3**	**-21.7%**	**83.6%**
税前利益(損失)	89.6	88.3	21.5	30.7	17.9	18.1	**45.0**	**148.3%**	**109.0%**

運用資産残高ー会社別[1]

(兆円)

	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	2027年3月期 6月末
野村アセットマネジメント	88.1	111.3	93.0	99.7	108.4	111.3	**127.7**
ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル 他[2]	5.5	34.1	8.8	9.3	34.9	34.1	**37.8**
運用資産残高(グロス)[3]	93.6	145.4	101.8	109.1	143.3	145.4	**165.5**
グループ会社間の重複資産	4.3	8.5	7.5	7.8	8.6	8.5	**9.1**
運用資産残高(ネット)[4]	89.3	136.9	94.3	101.2	134.7	136.9	**156.4**

1. *2024年4月1日付の米州の組織再編成に伴い、2025年3月期以降の野村アセットマネジメントの運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産から同額の運用資産残高が減少。2025年12月1日に買収が完了したマッコーリーグループのパブリック・アセットマネジメント事業の運用資産残高が含まれる*
2. *2025年4月1日付の野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティングのインベストメント・マネジメント部門への移管に伴い、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他の運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産において同額の運用資産残高が増加。野村グループの米国におけるインベストメント・マネジメント事業の中核会社であるNomura Capital Managementおよび Nomura Corporate Research and Asset Managementと 買収事業を統合した組織「ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル」を2025年12月に新設*
3. *インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産の単純合計(グロス)*
4. *運用資産残高(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したもの*

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

インベストメント・マネジメント部門　資金流出入ービジネス別[1]

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q	2026年3月期 4Q	2027年3月期 1Q
国内投資信託ビジネス	2,113	1,204	-207	525	71	816	**-367**
うちETF	987	-23	-667	77	-105	673	**-941**
国内投資顧問・海外ビジネス他	536	-762	315	-26	44	-1,095	**-963**
資金流出入 合計	2,648	443	108	498	115	-279	**-1,330**

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア[2]

(兆円)

	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	2027年3月期 6月末
国内公募投信残高							
マーケット	236.3	305.5	254.3	276.8	301.6	305.5	**359.9**
野村アセットマネジメントシェア	25%	25%	25%	24%	24%	25%	**24%**
国内公募株式投信残高							
マーケット	221.5	289.1	239.0	260.4	284.7	289.1	**343.1**
野村アセットマネジメントシェア	24%	23%	23%	23%	23%	23%	**23%**
国内公募公社債投信残高							
マーケット	14.8	16.4	15.3	16.4	16.9	16.4	**16.8**
野村アセットマネジメントシェア	44%	43%	44%	44%	43%	43%	**42%**
ETF残高							
マーケット	85.8	113.9	92.3	100.4	109.9	113.9	**135.7**
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%	44%	44%	44%	44%	**44%**

1.　運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入
2.　出所:資産運用業協会

ホールセール部門関連データ

収益合計（金融費用控除後）、税前利益/損失

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期				2027年3月期	前四半期比	前年同期比
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計(金融費用控除後)	1,057.9	1,162.2	261.1	279.2	313.9	308.1	**369.1**	**19.8%**	**41.4%**
金融費用以外の費用	891.7	961.7	219.2	226.0	251.6	264.8	**275.8**	**4.1%**	**25.8%**
税前利益(損失)	166.3	200.6	41.9	53.1	62.3	43.2	**93.3**	**115.9%**	**122.7%**

ホールセール部門　収益の内訳

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期				2027年3月期	前四半期比	前年同期比
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
フィクスト・インカム	499.2	509.0	124.8	121.9	136.9	125.3	**139.2**	**11.1%**	**11.5%**
エクイティ	375.4	459.2	98.3	113.8	119.9	127.2	**179.4**	**41.1%**	**82.5%**
グローバル・マーケッツ	874.6	968.1	223.1	235.7	256.8	252.5	**318.7**	**26.2%**	**42.8%**
インベストメント・バンキング	183.3	194.1	37.9	43.5	57.1	55.6	**50.4**	**-9.3%**	**32.9%**
収益合計(金融費用控除後)	1,057.9	1,162.2	261.1	279.2	313.9	308.1	**369.1**	**19.8%**	**41.4%**

人員数

	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	2027年3月期 6月末
日本	14,877	15,017	15,317	15,144	15,061	15,017	**15,339**
欧州	3,133	3,269	3,155	3,173	3,237	3,269	**3,265**
米州	2,417	3,028	2,476	2,450	3,030	3,028	**3,079**
アジア・オセアニア[1]	6,815	7,363	6,960	7,109	7,273	7,363	**7,529**
合計	27,242	28,677	27,908	27,876	28,601	28,677	**29,212**

1. *インド(ポワイ・オフィス)を含む*

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2027年3月期第1四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報（「将来予測」）を含む場合があり、また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト（https://www.nomura.com/jp/index.html）、EDINET（https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/week0010.aspx）または米国証券取引委員会（SEC）ウェブサイト（https://www.sec.gov）に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/